

もつようになる。これによつて全漁業国が協力を強化し、魚類生産と貿易の発展を相互の利益のために進めることになるだろう。

世界の漁業者の数は機械化によつて減ることがあつてもその質と社会的威信は高められよう。
(宇田道隆抄録)

注：*ロイ・ジャクソン氏はFAOの副総裁で水産局長

3 チリの漁業とその発展概観

出所：Wilhelm Brandhorst(Valparaiso, Chile): Die Chilenische Fischerei und ihre weiteren Entwicklungsaussichten. Berichte über Landwirtschaft, Bd. 43(1965), H. 1, S. 1-200

- 1) 自然背景、 (1) 地理、気候、
 (2) 海況 a. フンボルト海流(ペルーチリ海流)
 b. ギユンター海流(フンボルト海流の下を潜流として逆流)
 c. 海峽帯の海況
- 2) 構造背景 (1) 魚族生産(1951年9.3万トンが1963年76.3万トンと年々上昇した)

才1表 魚貝類等全水揚(1000トン単位)

種 類	年 度													
	1950	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
魚	69	73	94	87	104	170	142	157	172	228	305	389	591	706
その他水産生物	17	20	24	20	39	45	47	56	54	44	35	41	52	57
合 計	86	93	118	107	143	215	189	213	226	272	340	430	643	763

才2表 水産物輸出(略)

- (2) 各地域別漁業生産才3表、才4表(略)
 (3) 魚種別漁獲水揚(1958~1963年度)

オ5表 チリ多獲魚水揚高(トン)

種 類	年 度					
	1958年	1959	1960	1961	1962	1963
アンチヨビー(カタクチ)	39,536	75,162	168,981	259,088	439,650	539,451
メルルーサ	75,596	77,818	79,043	75,133	93,542	101,963
サーヂン(マイワシ)	14,839	34,766	23,648	26,544	24,632	27,927
ア ジ	4,996	11,208	6,161	5,423	8,975	8,695
シ エ ラ	10,291	7,983	6,115	4,561	7,558	9,615
ボ ニ ト	3,823	2,566	2,313	3,586	2,218	2,553
以下略						

オ6表 魚種別年々産額(金額)(省略)

3) カタクチイワシ漁業と海洋学、生物学的基本知識

(1) 地理的分布、(2) 生物学、(3) 水温と漁。水温13°~20℃でとれ、特に15°~17°で多獲する。

(4) 漁獲と漁船数(オ7表 略)

オ8表 フィンユミール工場数(略)

オ9表 月別カタクチイワシ水揚(トン)

月	1962年				1963年					
	18°30'S	20°15'S	21°28'S	26°06'S	アリカイキク		アントフア	ユキンボ		
	アリ	カイ	キク	アントフア ガスタ	ユキンボ タルカフアノ	アリ	カイ	キク	アントフア ガスタ	ユキンボ タルカフアノ
1	18,770	9,000	477	46	28,636	45,209	376	—	—	—
2	22,292	18,869	88	1	35,608	52,577	2	3	3	3
3	15,659	24,306	—	—	27,665	48,411	418	2	2	2
4	6,162	29,560	22	—	20,646	40,205	—	3	—	3
5	13,335	25,488	—	322	18,842	39,645	—	115	—	115
6	15,745	8,124	—	366	9,281	20,950	—	303	—	303
7	21,865	4,741	120	473	17,921	2,156	—	100	—	100
8	29,054	8,103	7	194	3,609	2,467	—	77	—	77
9	15,670	15,914	45	94	11,222	1,994	14	66	14	66
10	29,046	30,075	57	35	3,975	639	29	158	29	158
11	18,416	15,478	258	15	9,212	16,138	1,152	127	1,152	1,152
12	13,732	27,393	765	16	31,553	47,177	697	66	697	697
全年	219,676	217,051	1,409	1,520	218,170	317,568	2,688	1,020	2,688	1,020

(5) 漁業の四季の変化、(6) 工場設備、(7) フィッシュミール生産と輸出

(オ11表 他魚種フィッシュミール1962, 63略)
(オ10表 ミール魚油生産量)

年	全ミール (トン)	アンチヨビー ミール(トン)	輸 出 (トン)	魚 油 (トン)
1952	8,558	19	5,195	136
53	7,457	3	3,332	76
54	7,437	161	1,387	56
55	15,609	1,327	8,654	227
56	13,038	1,972	3,993	198
57	16,606	3,409	4,506	226
58	18,802	7,070	10,140	719
59	29,924	13,563	16,463	1,131
60	42,470	29,204	24,142	2,534
61	58,248	45,342	41,092	3,867
62	92,844	77,011	72,169	9,134
63	108,192	92,563	86,277	12,564
64	—	156,638	138,669	16,177

(8) アンチヨビー漁業発展の将来

4) メルルーサ漁業と海洋学、生物学的基礎

- (1) 地理的分布 (2) 生物学 (3) 漁業と下層ギユンター海流 (4) トロール漁業発達
(5) 漁場と漁獲高

オ12表 メルルーサ(トロール及び小型漁業:Caletaによる)水揚(トン)

	1957年	1958年	1960年	1961年
	トロール・カレタ	トロール・カレタ	トロール・カレタ	トロール・カレタ
全	70538 . 10855	65947 . 9650	70245 . 8799	68482 . 6563

才13表 月別メルルーサ水揚量(トン) (水深50-150m)

	サンアントニオ(33°-35°S)		タルカフアノ(35°-37°30'S)	
	1962年	1963年	1962年	1963年
1月	2,513	3,529	3,895	7,526
2	3,446	2,392	2,204	4,572
3	4,440	3,930	2,544	4,063
4	3,205	2,791	1,894	2,359
5	3,404	1,821	3,006	4,037
6	1,636	2,992	2,169	3,875
7	2,291	3,316	3,990	4,781
8	4,323	216	4,632	3,742
9	6,158	5,194	2,582	3,263
10	6,628	5,255	1,395	3,509
11	5,798	3,146	2,745	8,659
12	1,357	2,644	4,172	2,225
年	45,199	37,226	35,228	52,341

(6) トロールと小型漁業

(7) 加工水産業(才15表メルルーサ1947-1963年)

(8) 鮮魚消費

5) マイワシ漁業 6) 他漁業(マグロ等) 7) エビ、カニ、イカ、タコ、貝等

8) 捕鯨等の項目についても報告があるがここでは省略する。重要な項目につき表を記載した。

(宇田道隆抄録)

4 ソ連の世界海洋漁場進出

出所: 1) Peter Brady: Focus on the Soviet Fleet

2) W. M. Chapman: How Russia develops her fisheries and seapower.

以上 Fishing News Intern. Vol. 4, No. 4. 1965

1) ソ連は1945年遠洋漁業の世界的進出を国策に決定した。今から20年前は沖合漁船、200~300隻、それが今では3000隻で日本に対抗し、1965年漁獲は約560万トンとみられ、1945年の150万トンの4倍近い。新漁法、漁獲物保蔵の問題、船に冷凍設備、燃油等補給、母船、運搬船、最好漁場への探察調査船(20漁船に1隻)、漁業技術研究必要漁船建造、漁業訓練実習など多くの問題をかかえている。今やトロール漁獲は全ソ連漁獲の50%に達し、さらに増しつゝある。トロール以外に、旋網船も、ポンプ漁船(Pump